



# 学校だより

令和6年10月29日

東京都立石神井特別支援学校  
校長 中島 由美子

ここかしこ 金木犀の 香り立つ 秋深し バスに乗って 遠足に

お忙しい中、個人面談や授業参観などで御来校いただきありがとうございました。御家族が見に来てくださることが励みとなりいつも以上に張り切ってがんばっている子供たち、自然に笑顔になったり緊張で泣いたり、どの子供もがんばっている姿を見てもらいたいとの気持ちが強いのだと改めて感じました。日常の授業だけではなく、今学期は行事も多く、小5学年から中3学年までの全ての宿泊行事は今月でひと段落です。これまで一緒に宿泊行事へ参加しましたが、普段と違う環境の中でのびのびと過ごしている様子に安心するとともに、違う環境の場において成長した姿に気づかされることも多くありました。

1学期と比べて成長した子供たちの様子をたくさん見ていただきました。今後も新しいことを吸収し、自分でできることが増えるように、できたことに焦点を当て少しずつ少しずつ取り組んでいながら成就感を感じて成長していけるようにしていきたいと思います。

さて、11月1日は開校記念日です。今年で41周年を迎えました。高等部が閉部となった13年前（平成23年度）の過去最高の児童・生徒数を少し超え、41年目も子供たちが元気に通学しています。間もなく体育館改修工事も終わりますが、11月23日には本校を会場に本校及び交流校PTAによる石特祭、小関商栄会による地域のフリーマーケットを開催する予定です。都立石神井高等学校の生徒もボランティアで協力してくれることになりました。石神井台の地域の中の学校として、地域とのつながりをまた一歩広げていきます。

本校では毎日約350食、9名の調理スタッフが安全で栄養バランスの取れた給食を作っています。朝6時過ぎから準備をしており、夏場の厨房内は40度を超える暑さです。みんなが調理員の丹精こもった給食を楽しみにしており、食品ロスも少ないのが自慢です。

2学期に保護者を対象に給食試食会を開催しました。当日は子供たちの食べている給食を味わっていただくだけではなく、鷺島栄養士から調理の工程やお皿・スプーンなどの食具の説明も行い給食について理解を深めていただきました。参加された保護者の方からは、「薄味だが素材のおいしさがよく分かった。栄養バランスも考えられていてとてもおいしかった。

給食では何でも食べるので、偏食がなくなった。また来年も参加したい。」などのお声をいただきました。アレルギー対応食や形態食なども彩り良くおいしく作っています。



秋の香りごはん（栗）



みんな大好きカレーライス

■より良い学校を目指して ～学校評価への御協力をお願い～

例年実施しております学校評価を11月から開始します。今年度は、保護者の皆様にはClassiでアンケートを配信し、御回答していただくよう準備を進めております。また、アンケート内容は、一部項目を見直し整理を行いました。

学校評価では、保護者の方々のみならず、児童・生徒、教職員、そして外部委員として、学校運営連絡協議会の委員の方々にアンケートを実施します。昨年度までは、児童・生徒に対して実施していたアンケートを全家庭に持ち帰り、確認していただいておりますが、今年度より、御希望のあった御家庭へ持ち帰る予定でおります。詳細につきましては、「令和6年度学校評価（アンケート）への回答について」にてお知らせいたします。

学校では児童・生徒のより良い成長のために、様々な人たちが関わって教育活動を行っております。学校評価は学校に関わってくださっている方々とのやりとりができる一つの手段であると考えております。学校で行われる教育活動は、社会へ出ていく子供たちの成長のため、現在の社会状況に合わせた教育内容である必要があり、そのような意味でも、様々な立場の方々の御意見をいただきながら、長期的な視点で改善したいと考えております。大変お忙しい時期ではありますが、児童・生徒のより良い成長のために、御忌憚のない御意見をいただけますようお願いいたします。

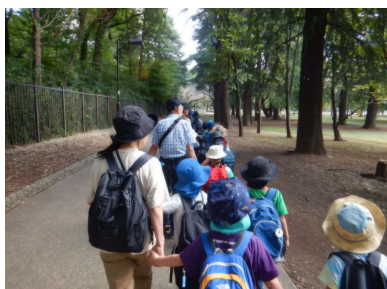
（教務主任 中村 亜紀）

■小学部1年 遠足

10月8日（火）が雨のため延期となり、秋晴れとなった15日（火）に東京都立小金井公園へ行ってきました。日差しが心地よい爽やかな晴天は、遠足にぴったりの気候でした。

小金井公園へ着くと、2グループに分かれて公園を散策しました。自分でしっかりリュックサックを背負って歩くことができました。広場では、子供たちが大好きなペンギン体操を踊ったり、輪になってパラバルーンを持ち、曲に合わせて回ったりしました。教室でも取り組んできた内容でしたが、屋外での活動は気持ちよく、子供たちも笑顔があふれていました。その後は、レジャーシートを敷いて朝から楽しみにしていたお弁当をみんなで食べました。自分のお気に入りのメニューを喜んで食べることができました。初めての遠足、38名全員が元気よく最後まで活動できたこと、よい経験になりました。

（小学部1年 中沢 雅美）



## ■ 中学部 1 年 移動教室

10月10日(木)曇り空の中、観光バスで八王子の高尾山へ向かいました。3日前まで付いていた雨マークの予報に、生徒も教員もやきもきしていましたが、前日まで降っていた雨もやんでくれて、ほっと一安心です。

高尾山は都心からのアクセスも良く最近外国からの観光客も多い大人気スポットです。麓から中腹まで、徒歩で1時間強かかるところを、ケーブルカーを使うと6分で行くことができますので、時間に制限があっても、頑張ってたくさん歩かなくても、東京の豊かな自然を十分に満喫することができます。事前の調べ学習で高尾山の天狗伝説やケーブルカーについて学んでいましたが、実際に乗車してケーブルカーの混雑や急勾配に驚き、薬王院の天狗の銅像を見つけて喜び、長い坂やたくさんの階段を上って汗をかきました。自分たちでいろいろと調べたことを、実際に見て感じて体験する、ということはより生徒達の記憶に残り、よい思い出になったことでしょう。

さて、高尾山でかいた汗を流して宿泊する先は「高尾の森わくわくビレッジ」です。廃校になった都立の高等学校をリノベーションした宿泊施設で、様々な体験や野外活動のできる施設があることから学校の利用が多いのですが、一般の方の宿泊も可能です。生徒のみなさんは、ご飯もよく食べ、みんなで楽しくお風呂に入り、最終的には疲れてぐっすり眠りました。

翌日は気温もぐっと上がり、青空がはっきり見える好天です。この日は、施設の体験プログラム「エコバッグの絞り染め」を受講しました。白い綿のエコバッグを四角に折ったり、輪ゴムで丸い形に絞ったりした後、赤と青と黄色のインクを使って色を付けていきますが、最後に開いてみるまでどんな模様になるか分からず、ドキドキです。最後に、お互いの作品を見合う発表をしたのですが、それぞれとても個性的な作品に仕上がって、よいお土産になりました。

1泊2日の移動教室は、こうしてあっという間に終わりました。生徒達にとって、移動教室は友達と一緒に泊りできる「楽しいお泊り会」なのかもしれません。しかし、宿泊学習には学校でも家庭でも経験することができない、たくさんの学習が含まれています。普段はお家の人にしてもらっていることも頑張ってみる、自分の物を自分で管理する、係の仕事に責任をもってやり遂げる、自分の家でないところでも落ち着いて過ごす、などなど。今回の移動教室をきっかけに何か一つ、次への成長のきっかけを見つけてもらえると幸いです。全員が参加することができたことが、何より最高でした！

(中学部 1 年 富山 博祐)

